

# 外科手術症例におけるフレイル、サルコペニアと術後合併症、予後の検討

## 1. 研究の対象

2011年10月1日から2023年3月31日までに済生会熊本病院で手術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

サルコペニアは「加齢に伴う筋肉量の低下」、フレイルは「加齢に伴う様々の機能低下や予備能力の低下を基盤に、健康障害に対する脆弱性が増加した状態」と定義されています。また、近年、フレイルやサルコペニアを有する外科手術症例では、術後合併症が多いことや予後が不良であることが報告されています。術前にフレイルやサルコペニアを評価することによって術後合併症や予後が予測できれば、術前にこれらの改善を目標とした対応を行うことで、術後合併症の低下や予後改善などを期待できる可能性があります。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、生年月日、病歴、採血結果、画像結果、治療法、合併症、予後などの情報

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院

〒861-4193

熊本市南区近見5丁目3番1号

TEL 096-351-8000 (代)

研究責任者：済生会熊本病院 外科部長 高森啓史

分担責任者：済生会熊本病院 外科主任医員 藏元一崇

以上